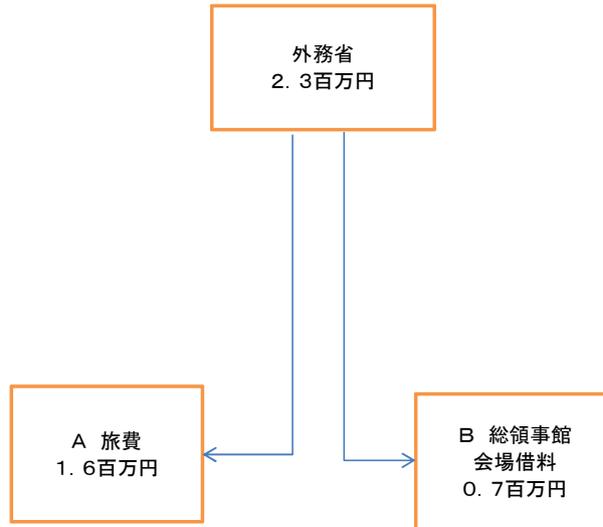


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日米・日加経済関係検討フォーラム開催経費		担当部局庁	北米局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度開始		担当課室	北米第二課		課長 大鶴 哲也		
会計区分	一般会計		施策名	I-2 北米地域外交				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第四条第一項ロ, 第二項		関係する計画、 通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	米国及びカナダに進出する日系企業関係者、米国・カナダの在外公館長(大使・総領事)及び本省幹部との意思疎通の円滑化を図り、米国及びカナダのよりよいビジネス環境の構築に向けて官民連携を強化する。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	米国及びカナダにおいて、それぞれ年一回、現地に進出する日系企業関係者、米国・カナダの在外公館長(大使・総領事)及び本省幹部による会合(日米経済関係検討フォーラム・日加経済関係検討フォーラム)を開催し、米国・カナダ経済や対米・対カナダ通商政策等について意見交換・情報共有を行い、米国・カナダのよりよいビジネス環境の構築に向けて議論する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予 算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	5	5	4	5	4	
	執行額	5	0	2				
	執行率(%)	111.9	0	52.0				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	米国及びカナダに進出する日系企業関係者、在米・在加公館長、本省幹部との間で米加経済や対米・対加通商政策等について意見交換・情報共有を行う。		成果実績	人	69		26	
			達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	原則、米国及び加においてそれぞれ続けて一回会合を開催(22年度は民間側と協議の結果、カナダでのみ開催した)。		活動実績 (当初見込み)	回	1	0	1 (1)	— (1)
単位当たり コスト	2.3(百万円/ 1回)		算出根拠	実績額÷実績回数				
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	旅費	4,015	3,376	事業見直し、単価見直し等による減				
	会議開催経費	833	799					
	講演謝礼	132	126					
計	4,980	4,301						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>22年度においては事業実施に際しての職員旅費及び在外職員旅費の支出に当たって可能な範囲で安価な航空券の購入に務めた他、会議費関係においても現地大使館・総領事館との連絡の下、経費節減に努めており、23年度においても本事業の実施にあつては予算の適正な執行に務める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業見直し、単価見直しによる減	
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減(事業見直し、単価見直しによる減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	フォーラム参加旅費	1.6			
計		1.6	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料	会場借料等	0.7			
計		0.7	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	フォーラム参加旅費	1		
2	個人B	フォーラム参加旅費	0.4		
3	個人C	フォーラム参加旅費	0.1		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	総領事館	会場借料等	0.7		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					